

新宮山彦ぐるーぷ第2150回

故山川治雄氏の追悼登山

◇ 実施日 10月17日(日) 曇り時々晴

◇ 参加者

ご遺族 山川白妙、山川自知

山川氏友人 西克、陰地成典、新谷愛子、尾川あや子

山彦

沖崎吉信、生熊敏男、中前偉、豊嶋寛、濱野兼吉、

畑林秀味・清子、大江加予子・徳子、高階鈴子・美

根子、梶野照雄、植平修、榊本真人、坂野良

21名

忘れはしない。5年前、行仙宿に東紀州10マウンテンの会の多数の方々が来宿された。その中のお一人から「俺もやまびこに入れてくれ」との申し出があった。

川島前代表はその人とは面識があるようで、是非々と話しが進んでいる。聞くと熊野市の山川治雄さんだ。この方があの山川さんか、と思った記憶がある。

20年以上前から山川さんは熊野市、尾鷲市の近郊は元より、大峯・大台などの紀伊半島南部を中心に積極的な山行を重ねておられ、また地域のためにも色々とお世話されておられて多方面にわたって活躍されてきた。

熊野市池川の山中で生まれ育ち、30年間の狩猟生活もあって山へのかかわりや知識、蘊蓄は他を持って代えがたいものがあつた。

平成28年11月20日、持経・平治宿での作業に初参加されて、以後の5年間は大車輪の活躍だった。

今回の追悼登山について事前に中前君に導師を、大江、畑林の二人に御供の準備をお願いした。



玉置辻に集合



松平集落跡に到着



玉置社僧墓前で

当日午前10時前、奥様と自知君、山川氏岳友の皆さんを含め計21名が玉置辻に集合、私から本日の段取り・予定を伝えて先ず松平集落跡に向かった。

事故当日、倒木処理後に松平集落跡で僧墓前などを整備する予定だった。

当日松平集落跡に登ると、途中のミツマタは刈り取られ、僧墓前もきれいに片付けられていた。中前、植平、坂野の3氏を中心に心経を唱えさせて頂いた。

松平集落跡を離れ事故現場に向かう。鉄階段を登り約5分で現場に着くが、ここも残っていた斜木が切除されて整備が済んでいた。

早速供台を設置して持参の供物を台上に。石を集めてケルンを造り、山川氏愛用の杖を立てて追悼供養の準備を整えた。



事故現場

中前君から有難いお経を唱えて頂き、お経の途中から奥様、自知君と順に各自線香を立てた。最後に私が挨拶をさせて頂き、自知君からは「親父がお世話になりました。追悼供養していただき、きつと喜んでくれると思う」との言葉を頂き終了とした。

供養終了後、奥様と自知君はここから下山、残りの19名は玉置神社まで登って休憩所の椅子に座って昼食を摂った。

食後、山川氏の岳友3名は玉置山と宝冠の森へ、16名で奥駈道を玉置辻に下山した。

植平、榎本、坂野、梶野の皆さんには遠路ご参列を賜り厚く御礼申し上げます。

このような悲しい事故を2度と起こしてはならない。それを誓った一日でもあった。



玉置神社に向かう



奥駈道を下る



本日の参加者

後日知ったが、梶野君が2度現場に向かい、事故現場と松平集落跡の整備を行ったそうだ。

(記：沖崎)

行動タイム

玉置辻 09：48→10：16 松平集落跡→11：02 事故現場 11：35→12：00 玉置神社→13：05 玉置辻